

第 4 次豊岡市行財政改革 進捗状況（6 月末現在）

（*） ●：実施済み ■：継続中 ★：実施予定

手段		取組名称	進捗状況	*	備考
市民との共創が進んでいる	市民と行政が役割を分担している	各種事務局の点検・見直しの実施	地域子ども会育成会事務局の自主運営への移行について調整中。 （※豊岡、城崎地域は移行済み。）	■	
		公の施設（指定管理者制度導入施設）のあり方の検討	—		
		「幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」の推進	2021.2.16 あり方計画策定 【計画策定時】幼稚園 11、こども園6、保育園2、私立こども園7、私立保育園 13 【2023 年度】幼稚園6、こども園6、保育園1、私立こども園9、私立保育園 12 【2030 年度】幼稚園0、こども園4、保育園1、私立こども園 13、私立保育園 10 2021.7～ 説明会開催（予定）	■	
		わかりやすい財政情報の公開の推進	—		
	市民等との共創事業が実施されている	地域コミュニティとの共創事業の検討	竹野南地区と公共交通分野等の共創を進めている。	■	
		企業・大学・金融機関・NPO などの共創事業の検討	2020.5.7 （一財）トヨタ・モビリティ基金と共に「豊岡スマートコミュニティ推進機構」（TSC）設立。 福祉・防災・公共交通・デジタル活用などに取り組んでいる。	■	
		新たな交通モードの検討	TSCにより竹野地域の公共交通再構築の検討が行われている。	■	
		第三セクターの経営健全化の推進	第三セクター連絡調整会議を立ち上げ、第三セクターの経営状況を把握するとともに、第三セクター相互間の連携、情報交換を図る取り組みを行っている。また、2015 年度から豊岡市第三セクターのあり方指針に基づき、市のホームページにおいて決算書類等を公開している。	■	
	5 共創を推進する人と仕組みが作られている	PPP／PFI 手法の活用推進	公共施設・市有財産の活用、運営等にサウンディング型市場調査の手法を導入している。	■	
		共創（協働）推進職員の育成	— （コロナ禍により研修中止）		

第4次豊岡市行財政改革 進捗状況（6月末現在）

手段		取組名称	進捗状況	*	備考
歳入が確保されている	既存財源からの歳入が増えている	ふるさと納税の推進	・豊岡鞆を中心に返礼品の拡充 ・WEB広告による返礼品のPR ・ふるさと納税ポータルサイトの追加 ・寄付者へ「ふるさと応援ハガキ」を送付し、引き続きの支援を呼びかけ	■	I 【2020 年度概算効果額】 358 百万円
		市有財産の売却、貸付等の推進	「未利用施設等の活用方針」を策定し、市として活用見込みのない施設等については、一般競争入札による売却を行っている。今後は多様な売却方式を検討したうえで、売却・貸付等の推進を図る。 2021 年度は旧奈佐小学校・旧港西小学校・旧高屋厚生年金住宅等の利活用を図るため、サウンディング型市場調査や公募型プロポーザルを実施する。	■	I 【2020 年度効果額】 134 百万円
		既存税率の見直しの検討	—		
	新たな財源が確保されている	国県補助金の積極的な確保の推進	国県補助金等の財源については積極的に活用するとともに、使用料・手数料等の自主財源についても、積極的に確保していく。	■	
		効果的な基金運用の検討	—		
		ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングの推進	2020 年度は3事業について実施した。 ※ 実績 68 件 3,303 千円	■	【2020 年度実績額】 (ふるさと納税総額の内数) 3,303 千円
		企業版ふるさと納税の導入	「深さをもった演劇のまちづくり事業」に対して、4企業、2,400 千円の寄附を受けた。	■	I 【2020 年度実績額】 2,400 千円
		ネーミングライツ導入の検討	公共施設等へのネーミングライツ(命名権)導入の可能性を調査するためのサウンディング型市場調査を行う。 2021.6 サウンディング募集	★	
		新税導入の検討	—		

第4次豊岡市行財政改革 進捗状況（6月末現在）

手段		取組名称	進捗状況	*	備考
		玄武洞公園の有料化の検討	2021 年度公園整備工事実施。 2022 年度のリニューアルオープンあわせて有料化へ 大人 500 円、学生(※)300 円 (※学生:大学、高校及びこれらに準ずる学校の学生・生徒)	★	Ⅲ【2022 年度以降効果想定額】 40 百万円/年度
歳出が効果的・効率的に実行されている	立案・廃止されている 事務事業が戦略的に	事務事業、補助金等の点検の実施	「時間のマネジメント」により、各部署において事務事業の自主点検を行っている。	■	
		戦略的政策評価の推進	2020 年度は「データの活用・見せ方研修」と幹部職員による「コロナ戦略体系図づくり」を実施。 2021 年度は管理職向けの「戦略マネジメント研修」を実施予定。	■	
		イベントの点検・見直しの推進	コロナ禍で中止・延期等したイベント等について、各部署において影響の検証を行った。	■	
		業務プロセス可視化の実施検討	2020 年度 BPRプロトタイピング研修を実施。 →健康増進課・農林水産課・教育総務課・出石振興局地域振興課で試行 2021 年度 ワクチン接種のBPRに取り組んでいる。	■	【BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)】:業務の流れを根本的に見直し再設計すること。 【プロトタイピング】:試作開発
	既存事務事業が効率的に実施されている	業務（給食センター調理業務、庶務業務、窓口業務、放課後児童クラブ、地籍調査等）の民間委託の検討	2021.2 「豊岡市学校給食調理業務等民間委託に関する基本方針」策定 【スケジュール】(予定) 2021.7 委託業者募集 2021.8～9 業者選定 2021.10 契約 2022.4 委託開始	★	Ⅲ【2022 年度以降効果見込額】 44 百万円/年度
		豊岡市行政情報化計画の推進（ICTを活用した業務効率化）	政策調整課と情報推進課の職員により市内各部署の業務にICTを導入する検討チーム「スマートワークラボ(SWL)」を構成し、情報戦略アドバイザーを交え、ICTの利活用について協議し推進している。	■	Ⅲ【2022 年度以降効果想定額】 40 百万円/年度

第4次豊岡市行財政改革 進捗状況（6月末現在）

手段		取組名称	進捗状況	*	備考
歳出が効果的・効率的に実行されている	既存事務事業が効率的に実施されている	公共施設マネジメントの推進	2020年度には地区集会施設8施設を地元へ譲与し、未策定の公共施設（ハコモノ）に係る個別施設計画を策定した。また、市民との協議の場である「地域デザイン懇談会」を、旧市町域を基本とした6地域に設置し議論を始めた。 2021年度は個別施設計画を基に総合管理計画の改訂に取り組むとともに、各地域の「地域デザイン懇談会」において議論を進め、「地域デザインプラン」の策定に取り組む。	■	
		公共施設の包括管理業務委託の検討	公共施設の包括管理導入検討・実施スケジュール決定。 2021.春～夏 候補施設選定 2021.秋 サウンディング型市場調査実施 2021.秋～冬 委託実施の検討（実施する場合） 2022.春～夏 委託先公募、選定 2022.夏～秋 契約 2023.春 委託開始	★	Ⅲ【2023年度以降効果想定額】 50百万円/年度
		水道・下水道事業の経営健全化の推進	【上下水道料金】 2021.4.26 豊岡市公営企業審議会に2022～2026年度における上下水道料金のあり方について諮問。 現在、審議会で審議が行われている。 （今後、9月頃まで月1回程度の開催を予定） 【下水道事業】 2021.4.1 下記の4処理区を公共下水道処理区等へ統合。 ・三江東部、神美北部、八代 →公共下水道へ ・平田 →特定環境保全公共下水道へ （※統廃合事業は2025年度完了予定） 豊岡市浄化センター他2施設の長寿命化対策工事を実施。	■	
		豊岡市土地開発公社のあり方の検討	2021.1.22 土地開発公社解散 →解散による余剰金 88,684千円 （2021年度に市が受け取る。）	●	Ⅱ【2021年度効果見込額】 88百万円

第4次豊岡市行財政改革 進捗状況（6月末現在）

手段		取組名称	進捗状況	*	備考
歳出が効果的・効率的に実行されている	効率的・効果的な人事、人員配置、組織構築がなされている	戦略に対応した組織改編の実施	2021 年度～ 「ワークイノベーション推進室」 → 「ジェンダーギャップ対策室」 【生活環境課】「地球温暖化防止対策室」を新設 【農林水産課】「グッドローカル農業推進室」を新設 【社会福祉課】「こども未来応援係」を新設 【都市整備課】「稲葉川区画整理推進室」を廃止 2021.6～ 【健康増進課】「新型コロナワクチン接種推進室」を新設	■	
		定期異動の実施時期の見直しの検討	繁忙期や決算期と重なる時期の異動は職務に影響が出ない範囲内で実施したいと考えるが、定年退職の補充と新規採用の配置を行う4月は、一定数の異動が必要となる。	★	
		職員派遣のあり方を見直し	派遣の必要性や派遣先団体の意向なども踏まえ、検討していきたい。	★	
		時間外勤務削減の取組みの継続推進	2020 年度時間外勤務 84,970 時間 (前年度比 16,052 時間・15.9%減) ※外部派遣職員除く	■	I 【2020 年度効果額】 34 百万円/年度
		人件費削減手法の検討	時間のマネジメントの推進による時間外の削減など。	■	
職員が改善、改革の行動を起こしている	職員が自ら成長し、意欲と能力が向上している	豊岡市役所キャリアデザインアクションプランの推進	①自ら考え行動できる職員の育成 ②一人ひとりが役割に応じたスキルを身につける ③性別にかかわらず、働きやすく働きがいのある組織風土づくりを目指した研修や調査に取り組んだ。 ・6種類の研修のべ 374 人受講 ・職員意識調査(回答数:737/857 人 回答率:86.0%) ・全職員対象キャリアサポート面談の実施など	■	
		勤務評定制度の推進	継続実施	■	

第4次豊岡市行財政改革 進捗状況（6月末現在）

手段		取組名称	進捗状況	*	備考
職員が改善、改革の行動を起こしている	欲と能力が自ら成長し、意	豊岡市職員人材育成基本方針の改訂	2021.3 改訂 【5つの取組みの柱】 ①職員を支える仕組みが整っている ②部下の強みを理解し、キャリア形成を応援している ③ありがたい姿を自分の言葉で語っている ④職員がともに高めあっている ⑤職場のジェンダーギャップが解消されている	●	
		褒める仕組みの継続推進	表彰制度ではなく、各職場で褒める仕組みを取り入れる。 (2020 年度研修はコロナ禍により延期)	★	
		定員管理計画の見直しの検討	2022 年度見直し予定	★	
	整う環境が	豊岡市役所キャリアデザインアクションプランの推進(再掲)			
		時間外勤務削減の取組みの継続推進(再掲)			
	職員OB含む)の知識、知恵が共有されている	事務改善及び改善事例・アイデアの共有	会計手続き簡素化 押印廃止 東京への飛行機出張旅費の定額化 要綱の新旧対照表による改正(総務課) 会議の進め方効率化周知(教育総務課) 課長による毎月進行管理(社会福祉課) 稽古堂使用手続きの省略化(総務課) 仕事納め式、ホームル賞の廃止(人事課) など	■	
		K A I Z E Nミーティングの継続推進	庁内でよくある問い合わせのQ&A作成 AIチャットボット導入検討	★	【AIチャットボット】:話し手との会話をAIロボットが代行してくれるツール
		窓口業務の実務的改善	—		

(I : 2020 年度実績額 計 528.4 百万円 II : 2021 年度見込額 計 88 百万円 III : 2022 年度以降想定額 計 174 百万円 合計 790.4 百万円)